

教えて!

市立病院

〈第 71 回〉市立病院の利用～あなたのお金と時間を効率化～

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

1 市立病院の役割

市立病院は、急性期病院です。急性期病院とは、国が推進する医療の機能分担において、緊急・重症な状態にある患者に対して入院・手術・検査など高度で専門的な医療を提供する役割を担う病院をいいます。

2 かかりつけ医を持ちましょう

かかりつけ医とは、身近で日常的な診療や健康相談ができる地域の診療所などの医師をいい、普段かかっている医院やクリニックの医師も含まれます。もし専門の診療科が違って、かかりつけ医は患者の病歴や健康状態を把握しているので、気になる症状などを相

談してみましょう。かかりつけ医が手術や専門的な治療・検査が必要だと判断した場合、適切な医療機関（市立病院、三友堂病院、舟山病院など）へ紹介してもらえます。

3 紹介状の重要性

かかりつけ医などの紹介状（診療情報提供書）には、それまでの治療経過や検査結果など、その後の診療に役立つ医療情報が満載です。こうした情報が提供されることで、市立病院では処方薬や各種検査などの重複を避けることができ、医療費の削減につながります。また、市立病院にかかっていなくとも紹介状があれば予約ができ、受診当日は短い待ち時間で案内で

きます。紹介状は、3割負担の場合約750円掛かりますが、市立病院に持ってくると「非紹介患者初診加算料（選定療養費）」は掛かりません。ぜひ紹介状をお持ちください。

このように、緊急・重症でない人は、まずかかりつけ医を受診することで、専門的な治療や検査が必要になって市立病院を受診する場合に、待ち時間や医療費を減らすことができます。同時に、市立病院は本来の機能である急性期病院の役割を果たすことができます。

皆様のご理解とご協力をお願いします。